

高等学校 令和7年度（1 学年用）教科 地理歴史 科目 歴史総合

教科： 地理歴史 科目： 歴史総合 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 A 組～ E 組

教科担当者： （A組： ） （ 組： ） （C組： ） （D組： ） （E組： ） （ 組： ）

使用教科書： （『明解 歴史総合』帝国書院 ）

教科 地理歴史 の目標：
【知 識 及 び 技 能】諸地域の特色と世界の歴史展開に関して理解し、諸資料から情報を調べまとめる技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象を多面的・多角的に考察し課題解決に向けて考える力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】地理・歴史の課題を主体的に解決しようとする態度を養い、自他国の文化を尊重する大切さの自覚を深める。

科目 歴史総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・ 歴史的諸事象に関わる人物や事件名・地名などの単語を大きな歴史の流れの中に組み込んで理解することができる。 ・ 様々な史資料からデータを読み取ることが出来る。	・ 諸史資料から抜き出したデータを活用して、自らの考えを論理的に形成し、他者に多様な方法で伝えることが出来る。 ・ 諸史資料を比較し、その史資料が持つデータの活用方法を考えることが出来る。	・ 諸史資料から当時の人々の生活に共感し、自分たちとの違いや共通点を探すことが出来る。 ・ 粘り強く学習に取り組み、史資料から必要な情報を読み取ろうとすることが出来る。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元「歴史の扉」(1)歴史と私たち 主題学習を通して、日本と諸地域及び世界のつながりを理解させ、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化を考察し、表現できるようにさせる。	・ 指導事項 砂糖の世界史 ・ 教材 川北稔『砂糖の世界史』岩波書店 ・ その他 プロジェクトによる史資料提示	【知識・技能】 ・ 歴史的諸事象に関わる人物や事件名・地名などの単語を大きな歴史の流れの中に組み込んで理解することができる。 【思考・判断・表現】 ・ 諸史資料から抜き出したデータを活用して、自らの考えを論理的に形成し、他者に多様な方法で伝えることが出来る。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 諸史資料から当時の人々の生活に共感し、自分たちとの違いや共通点を探すことが出来る。	○	○	○	4
	A 単元「歴史の扉」(2)歴史の特質と資料 日本や世界の、様々な地域の人々の痕跡や記録である遺物や文書、画像などの資料から歴史が叙述されていることを理解させ、複数の史資料を比較し異同に着目して、史資料の情報を整理することができるようにさせる。	・ 指導事項 砂糖の世界史 ・ 教材 川北稔『砂糖の世界史』岩波書店 ・ その他 一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 ・ 歴史的諸事象に関わる人物や事件名・地名などの単語を大きな歴史の流れの中に組み込んで理解することができる。 【思考・判断・表現】 ・ 諸史資料から抜き出したデータを活用して、自らの考えを論理的に形成し、他者に多様な方法で伝えることが出来る。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 諸史資料から当時の人々の生活に共感し、自分たちとの違いや共通点を探すことが出来る。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	B 単元「近代化と私たち」(1)近代化への問い(2)結びつく世界と日本 交通と貿易、産業と人口、権利意識と政治参加や国民の義務、学校教育などの史資料を活用しながら、それらの情報を読み取り、1 8 世紀の社会の変容を考察し、問いを表現することができるようにさせる。	・ 指導事項 18世紀の諸革命 ・ 教材 フランス革命などの史資料 ・ その他 一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 ・ 歴史的諸事象に関わる人物や事件名・地名などの単語を大きな歴史の流れの中に組み込んで理解することができる。 【思考・判断・表現】 ・ 諸史資料から抜き出したデータを活用して、自らの考えを論理的に形成し、他者に多様な方法で伝えることが出来る。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 諸史資料から当時の人々の生活に共感し、自分たちとの違いや共通点を探すことが出来る。	○	○	○	8
	B 単元「近代化と私たち」(3)国民国家と明治維新(4)近代化と現代的な諸課題 1 8 世紀後半以降の日本と日本に影響を与えた国際的な社会情勢を、史資料に基づいて相互に関連させながら、多面的・多角的に考察し、その時期の国際関係を踏まえて、現代的な諸課題を考察することができるようにさせる。	・ 指導事項 ヨーロッパの諸革命と日本 ・ 教材 諸革命と日本への影響がわかる史資料 ・ その他 一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 ・ 歴史的諸事象に関わる人物や事件名・地名などの単語を大きな歴史の流れの中に組み込んで理解することができる。 【思考・判断・表現】 ・ 諸史資料から抜き出したデータを活用して、自らの考えを論理的に形成し、他者に多様な方法で伝えることが出来る。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 諸史資料から当時の人々の生活に共感し、自分たちとの違いや共通点を探すことが出来る。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	C 単元「国際秩序の変化や大衆化と私たち」(1)国際秩序の変化や大衆化への問い 国際関係が緊密化していく中で、大衆の政治的・経済的・社会的地位が変化し、生活様式が変化したことを史資料から読み取り、そこから読み取れたことを考察することができるようにさせる。	・ 指導事項 18世紀後半～19世紀前半に至る国際関係 ・ 教材 国民国家の形成に関する史資料 ・ その他 一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 ・ 歴史的諸事象に関わる人物や事件名・地名などの単語を大きな歴史の流れの中に組み込んで理解することができる。 【思考・判断・表現】 ・ 諸史資料から抜き出したデータを活用して、自らの考えを論理的に形成し、他者に多様な方法で伝えることが出来る。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 諸史資料から当時の人々の生活に共感し、自分たちとの違いや共通点を探すことが出来る。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1

2 学 期	C 単元「国際秩序の変化や大衆化と私たち」(2)第一次世界大戦と大衆社会(3)経済危機と第二次世界大戦 第一次世界大戦の展開とその後の国際社会の変化を理解させ、史資料を用いて日本やその他の国の地域を関連させて多面的・多角的に考察することができるようにさせる。 世界恐慌やファシズムの台頭、日本の対外政策を基に、国際協調体制の動揺を理解させ、史資料を用いて各国がそれらの危機に対してどのように対処したのか考察し、表現することが出来るようにさせる。	・指導事項 第一次世界大戦に至る国際関係と第一次世界大戦 ・教材 戦前・戦中・戦後の国民生活に関する史資料 ・その他 一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・歴史的諸事象に関わる人物や事件名・地名などの単語を大きな歴史の流れの中に組み込んで理解することができる。 【思考・判断・表現】 ・諸史資料から抜き出したデータを活用して、自らの考えを論理的に形成し、他者に多様な方法で伝えることが出来る。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・諸史資料から当時の人々の生活に共感し、自分たちとの違いや共通点を探ることが出来る。	○	○	○	7
	C 単元「国際秩序の変化や大衆化と私たち」(4)国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題 自由・制限、平等・格差、開発・保全、統合・分化、対立・協調と持続可能な社会の観点から、史資料を用いて、国際秩序の変化を考察し表現することができるようにさせる。	・指導事項 両大戦間期の国際秩序 ・教材 社会情勢の変化に関する表やグラフなどの史資料 ・その他 一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・歴史的諸事象に関わる人物や事件名・地名などの単語を大きな歴史の流れの中に組み込んで理解することができる。 【思考・判断・表現】 ・諸史資料から抜き出したデータを活用して、自らの考えを論理的に形成し、他者に多様な方法で伝えることが出来る。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・諸史資料から当時の人々の生活に共感し、自分たちとの違いや共通点を探ることが出来る。	○	○	○	8
	D 単元「グローバル化と私たち」(1)グローバル化への問 冷戦と国際関係の中で、人や資本の移動が活発化した結果、食料と人口やエネルギーと地球環境、感染症などの課題が出てきたことを、史資料を用いて理解させ、グローバル化に伴う社会の変容を考察することができるようにさせる。	・指導事項 両大戦間期におけるテーマ史 ・教材 生徒に合わせた各テーマに関する史資料 ・その他 一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・歴史的諸事象に関わる人物や事件名・地名などの単語を大きな歴史の流れの中に組み込んで理解することができる。 【思考・判断・表現】 ・諸史資料から抜き出したデータを活用して、自らの考えを論理的に形成し、他者に多様な方法で伝えることが出来る。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・諸史資料から当時の人々の生活に共感し、自分たちとの違いや共通点を探ることが出来る。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1

3 学 期	D 単元「グローバル化と私たち」 (2) 冷戦と世界経済 植民地支配の終焉と、新帝国主義の出現、軍備拡張と核兵器の管理難度を国際政治の中で理解させ、そうした国際社会の中で世界経済の拡大と経済成長下の日本との関係を考察し、問いを表現することができるようにさせる。	・指導事項 第二次世界大戦と戦後の国際秩序 ・教材 冷戦構造に関する史資料 ・その他 一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・歴史的諸事象に関わる人物や事件名・地名などの単語を大きな歴史の流れの中に組み込んで理解することができる。 【思考・判断・表現】 ・諸史資料から抜き出したデータを活用して、自らの考えを論理的に形成し、他者に多様な方法で伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・諸史資料から当時の人々の生活に共感し、自分たちとの違いや共通点を探ることができる。	○	○	○	6
	D 単元「グローバル化と私たち」 (3) 世界秩序の変容と日本 史資料を用いて、エネルギーと地球環境問題の進展や石油危機、市場開放と経済の自由化などの課題を理解させ、冷戦の変容と終焉が進む国際社会の中で、日本の役割などを多面的・多角的に考察することができるようにさせる。	・指導事項 冷戦期の社会問題と課題 ・教材 社会問題に関する史資料 ・その他 一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・歴史的諸事象に関わる人物や事件名・地名などの単語を大きな歴史の流れの中に組み込んで理解することができる。 【思考・判断・表現】 ・諸史資料から抜き出したデータを活用して、自らの考えを論理的に形成し、他者に多様な方法で伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・諸史資料から当時の人々の生活に共感し、自分たちとの違いや共通点を探ることができる。	○	○	○	6
	D 単元「グローバル化と私たち」 (4) 現代的な諸課題の形成と展望 これまでの学習で培ってきた、史資料の読み取りと、それら読み取った史資料を複数比較し、現代的な諸課題を見つけられるようにさせ、歴史的背景を踏まえて現代的な諸課題を解決するための展望を考察し、構想し、表現することができるようにさせる。	・指導事項 現代的諸課題に関する課題を見つける ・教材 現代的諸課題に関する問題 ・その他 一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・歴史的諸事象に関わる人物や事件名・地名などの単語を大きな歴史の流れの中に組み込んで理解することができる。 【思考・判断・表現】 ・諸史資料から抜き出したデータを活用して、自らの考えを論理的に形成し、他者に多様な方法で伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・諸史資料から当時の人々の生活に共感し、自分たちとの違いや共通点を探ることができる。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1 合計 70